

「三重県高等学校のあり方」検討補足資料集

1. 県立高等学校に関する基本データ（P1～P5）

(1) 県立高等学校の分類	1
(2) 県立高等学校の学校数	2
(3) 県立高等学校の学科別募集定員	2
(4) 県立高等学校の学科別入学者選抜状況	2
(5) 県立高等学校の卒業後の状況	2
(6) 学校満足度アンケート集計比較（平成22年度）	3
(7) 県の各部局および関係機関との連携状況	4

2. 進路指導に関する基本データ等（P6～P15）

(1) 平成22年度県立高等学校の卒業者の学科別進路状況	6
(2) 普通科（県立高校全日制）の大学・短大進学状況	8
(3) 普通科（県立高校全日制）の文系・理系進学状況	8
(4) 県立高等学校の学科別卒業生数及び就職状況	9
(5) 県立高等学校の学科別の県内・県外企業への就職状況	12
(6) 新規県立高等学校卒業生者の就職離職状況	13
(7) 県立高等学校学科別の離職率の推移	13
(8) 平成22年度県立高等学校学科別インターンシップ体験状況	14
(9) 卒業生アンケートから見える就職指導の課題	15

3. 各学科等に関する基本データ（P16～P34）

○ 普通科	16
○ 総合学科	18
○ 農業	19
○ 工業	22
○ 商業	25
○ 水産	27
○ 家庭	28
○ 看護	29
○ 情報	29
○ 福祉	30
○ 単位制	31
○ 中高一貫教育	33

4. 三重県中学校卒業生の推移と予測（P35～P37）

■ 県立高等学校再編活性化基本計画（別冊）

■ 職業教育の改善・充実のための推進計画（別冊）

1. 県立高等学校に関する基本データ

(1) 県立高等学校の分類(H23入学生詳細)

全日制課程				
学年制	普通科		桑名、桑西、桑北、四日市、四南、四西、朝明、四郷、菰野、川越、神戸、白子、石薬師、稲生、亀山、津、白山、上野、名張西、松阪、宇治山田、伊勢、南伊勢(南勢、度会校舎)、志摩、木本	
		コース制	四日市(国際科学)、四南(数理科学)、四西(比文・歴史、数理情報)、朝明(福祉)、四郷(スポーツ科学)、白子(文化教養)、稲生(情報)、久居(スポーツ科学)、伊勢(国際科学)、志摩(国際)、尾鷲(プログレッシブ)	
	専門学科	農業・水産	四日市農芸、久居農林、相可、明野、水産	
		工業	桑名工業、四日市工業、四日市中央工業、津工業、名張西(情報)、松阪工業、伊勢工業	
		商業・情報	四日市商業、津商業、白山(情報コミュニケーション)、宇治山田商業、亀山(システムメディア)	
		家庭	四農(生活文化)、白子(生活創造)、亀山(総合生活)、久居農(生活デザイン)、相可(食物調理)、明野(生活教養)	
		福祉・看護	桑名(衛生看護)、明野(福祉)	
		その他		川越(英語)、飯野(英語コミュニケーション)、名張西(英語)
				桑名(理数)、神戸(理数)、飯野(応用デザイン)
				稲生(体育)、津西(国際科学)、松阪(理数)、上野(理数)
単位制	普通科	津西、津東、久居、名張桔梗丘、相可、尾鷲、紀南		
	総合学科	いなべ総合、名張、昴、飯南、鳥羽、木本、あけぼの		
	専門学科	松阪商業、尾鷲(情報ビジネス、システム工学)、伊賀白鳳		

定時制課程			
学年制		桑名、神戸、亀山、上野	
	単位制	普通科	北星、飯野、名張、松阪工業、伊勢まなび(昼間部普通科)、尾鷲、木本
		専門学科	北星、(情報ビジネス)、四日市工業、伊勢まなび(夜間部ものづくり工学)
		総合学科	みえ夢学園

通信制課程		
単位制	普通科	北星、松阪

(2) 学校数

	本校	分校	合計
全日制	55	1	56
定時制	13		13
通信制	2		2

(3) 県立高校 学科別募集定員(平成23年度)

		普通科	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	情報	総合 学科	計
三重	定員	8,000	600	105	1,560	1,080	320	40	80	80	1,080	12,945
	%	61.8%	4.6%	0.8%	12.1%	8.3%	2.5%	0.3%	0.6%	0.6%	8.3%	
全国	定員	525,861	30,526	3,747	75,081	60,188	8,615	1,258	2,194	976	51,864	760,310
	%	69.1%	4.0%	0.5%	9.9%	7.9%	1.1%	0.2%	0.3%	0.1%	6.8%	

(4) 学科別入学者選抜状況

学科	前期選抜(推薦入学・特色化選抜)						後期選抜(一般選抜)					
	H19	H20	H21	H22	H23	平均	H19	H20	H21	H22	H23	平均
普通科(12校)	—	4.72	4.66	4.57	4.21	4.54	1.20	1.19	1.15	1.11	1.12	1.15
普通科(12校以外)	1.25	2.03	1.99	2.11	2.12	1.90	1.03	1.07	1.02	1.09	1.04	1.05
総合学科	1.67	2.14	1.90	2.05	1.77	1.91	1.20	1.13	1.11	1.20	1.08	1.14
農業に関する学科	1.36	1.67	2.14	2.10	2.02	1.86	1.07	1.16	1.19	1.23	1.06	1.14
工業に関する学科	1.44	1.87	1.94	1.84	2.02	1.82	1.15	1.07	1.12	1.14	1.21	1.14
商業に関する学科	1.59	1.93	1.86	1.74	1.90	1.80	1.06	0.98	1.08	1.02	1.08	1.04
水産に関する学科	1.19	1.72	1.49	1.74	1.64	1.56	0.78	1.00	0.63	0.96	0.67	0.81
家庭に関する学科	1.82	1.75	2.09	2.21	1.88	1.95	1.23	1.07	1.23	1.37	0.93	1.17
福祉に関する学科	1.06	1.14	1.45	1.62	2.08	1.47	0.33	—	1.11	1.17	1.00	0.72
情報に関する学科	1.38	1.15	1.53	1.23	1.23	1.30	0.98	1.14	1.31	0.92	1.08	1.09
看護に関する学科	1.55	1.20	1.63	1.95	1.70	1.61	—	—	—	—	—	—
その他の学科	1.53	1.89	2.26	2.49	2.22	2.08	1.99	2.23	2.39	2.63	2.22	2.29
倍率	1.41	1.98	2.06	2.10	2.07	—	1.15	1.15	1.14	1.16	1.13	—

※ 普通科(12校) : 桑名、川越、四日市、四日市南、神戸、津、津西、津東、上野、松阪、伊勢、宇治山田

(5) 県立高校 卒業後の状況

高校卒業者の進学等の状況(県立全日制・定時制)

(単位:%)

		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
進学率 (大学・短大)	三重県	41.5	43.6	43.5	44.7	44.6	45.2	46.0	45.4
	全国	41.5	43.3	45.1	46.8	48.5	49.5	49.7	
就職率	三重県	28.0	28.9	30.7	31.9	32.8	33.1	29.1	30.1
	全国	19.3	19.9	20.8	21.5	22.0	21.3	18.8	

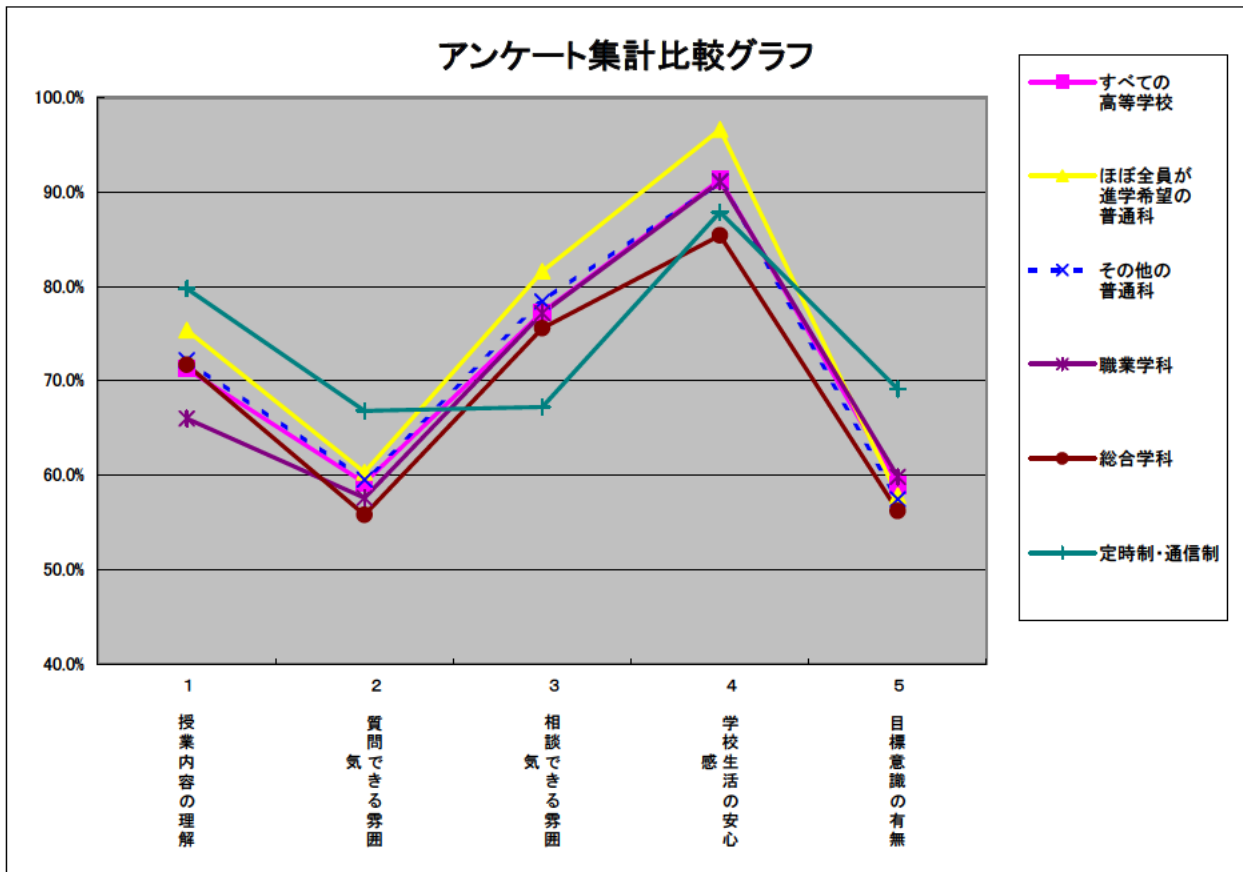
※ 就職率:卒業者のうち、就職が決定した者の占める割合

※ 平成23年5月1日調査

(6) 学校満足度アンケート集計比較(平成22年度)

※木本高校は普通科に含む
みえ夢学園高校は定時制・通信制に含む

	すべての 高等学校	ほぼ全員が 進学希望の 普通科	その他の 普通科	職業学科	総合学科	定時制・通信 制
1 授業内容の理解	71.2%	75.4%	72.2%	66.0%	71.7%	79.8%
2 質問できる雰囲気	59.2%	60.3%	59.5%	57.6%	55.8%	66.8%
3 相談できる雰囲気	77.3%	81.6%	78.4%	77.2%	75.6%	67.2%
4 学校生活の安心感	91.3%	96.6%	91.1%	91.1%	85.4%	87.9%
5 目標意識の有無	59.0%	57.8%	57.5%	59.8%	56.2%	69.1%



- ・ 多様な科目を設置し、自ら選択する授業が多いことから、生徒の意欲的な姿勢から授業内容の理解にもつながっている。
- ・ 学校の雰囲気や安心感については、選択科目ガイダンスやキャリア教育を推進しているものの、生徒の思いに添えることができていない結果である。
- ・ 総合学科においては、入学後にさまざまな科目を履修しながら、適性に合った職業選択を目指しているが、2年次であることを踏まえると、目標意識について一定の方向性を認識させることが望まれる。

(7) 県の各部局および関係機関との連携状況

1 県農水商工部との連携

- 企業立地室と連携し、新規立地企業に係る求人情報を、教育委員会を通じて高校に提供している。
- 商工振興室と連携し、保護者・教員向け企業見学バスツアーを実施するとともに、「リーディング産業展(11月)」において高校生・特別支援学校生のブース見学を実施している。
- 産業集積室と連携し、「リーディング産業展(11月)」において高校生・特別支援学校生対象のIT講座を開催している。

2 県生活・文化部との連携

- 教育長、生活・文化部長、三重労働局職業安定部長等の連名により、各経済団体に対して、高校生・特別支援学校高等部生への求人枠の維持・拡大の要請を行っている。
- 勤労・雇用支援室と連携し、高校生のインターンシップに係る実習生指導料等の支援を受けている。
- 勤労・雇用支援室と連携し、県内7地域でキャリア教育推進地域連携会議を開催している。
- 県若者自立支援センターと連携し、高校中途退学者のうち進路先が未決定の者、就職先が未決定のまま卒業した者等の支援に取り組んでいる。
- おしごと広場みえと連携し、就職未内定のまま高校を卒業者等を対象に、5ヶ月程度の有期雇用を行い、この間に正規雇用に繋げるための研修訓練を行う。

3 三重労働局・各ハローワークとの連携

- 三重労働局が新規学校卒業者就職問題検討会議を主催し、中学生・高校生への職業紹介、応募、選考に係る申し合わせ事項を協議・決定している。
- 三重労働局が新卒者就職応援本部を設置し、新卒者の就職支援に係る企画・調整を行っている。
- 教育長、生活・文化部長、三重労働局職業安定部長等の連名により、各経済団体に対して、高校生・特別支援学校高等部生への求人枠の維持・拡大の要請を行っている。
- 各ハローワークが開催する雇用主会議において、県教育委員会から求人枠の維持・拡大の要請を行っている。
- 各ハローワークが開催する合同就職面接会に、就職未内定の高校生が参加している。

4 経済団体との連携

- 高校と各商工会議所が連携し、インターンシップ・デュアルシステムの受入事業所の確保及びこれの効果的な実践に係る協議等を行っている。
- 教育長、生活・文化部長、三重労働局職業安定部長等の連名により行う経済4団体および各商工会議所に対する求人枠の維持・拡大の要請を、各会員企業に周知している。
- 各商工会議所等と連携し、就職未内定者を対象とする就職情報交換会を実施している。
- 県商工会議所連合会との共済により、県内7地域で、キャリア教育推進地域連携会議を開催している。

5 産業界との連携

- 産業教育及び職業指導の振興を期し、併せて県下産業の振興発展を図ることを目的に、事業所220団体と39の学校が会員となり、三重県産業教育振興会の活動を行っている。
- 主な事業は、産業界と学校の連携強化、産業教育の振興、新規高卒者の雇用安定に関する要望、研究活動の助成、産業教育功労者の表彰等である。

2. 進路指導に関する基本データ等

(1) -1 平成22年度 県立高校卒業者の学科別進路状況(全日制)

(平成23年5月1日現在 高校教育室調べ)

学科名	男女別	大学		短大等		専修学校 各種学校		就職		その他		卒業者 (人数)
		(人数)	(%)	(人数)	(%)	(人数)	(%)	(人数)	(%)	(人数)	(%)	
普通	男	2,145	60.1%	44	1.2%	701	19.6%	542	15.2%	137	3.8%	3,569
	女	1,868	51.8%	441	12.2%	689	19.1%	465	12.9%	146	4.0%	3,609
	計	4,013	55.9%	485	6.8%	1,390	19.4%	1,007	14.0%	283	3.9%	7,178
農業	男	40	11.5%	6	1.7%	61	17.5%	232	66.5%	10	2.9%	349
	女	11	5.0%	14	6.4%	57	26.0%	126	57.5%	11	5.0%	219
	計	51	9.0%	20	3.5%	118	20.8%	358	63.0%	21	3.7%	568
工業	男	196	13.5%	12	0.8%	141	9.7%	1,096	75.5%	6	0.4%	1,451
	女	11	13.1%	7	8.3%	25	29.8%	38	45.2%	3	3.6%	84
	計	207	13.5%	19	1.2%	166	10.8%	1,134	73.9%	9	0.6%	1,535
商業	男	63	30.3%	0	0.0%	43	20.7%	100	48.1%	2	1.0%	208
	女	116	13.7%	79	9.4%	173	20.5%	446	52.8%	30	3.6%	844
	計	179	17.0%	79	7.5%	216	20.5%	546	51.9%	32	3.0%	1,052
水産	男	3	4.2%	17	23.9%	6	8.5%	42	59.2%	3	4.2%	71
	女	1	5.9%	0	0.0%	5	29.4%	11	64.7%	0	0.0%	17
	計	4	4.5%	17	19.3%	11	12.5%	53	60.2%	3	3.4%	88
家庭	男	1	6.7%	1	6.7%	5	33.3%	8	53.3%	0	0.0%	15
	女	14	4.4%	39	12.1%	98	30.5%	145	45.2%	25	7.8%	321
	計	15	4.5%	40	11.9%	103	30.7%	153	45.5%	25	7.4%	336
看護	男	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
	女	0	0.0%	39	97.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	40
	計	0	0.0%	40	97.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	41
情報	男	19	36.5%	0	0.0%	9	17.3%	23	44.2%	1	1.9%	52
	女	4	16.0%	4	16.0%	5	20.0%	12	48.0%	0	0.0%	25
	計	23	29.9%	4	5.2%	14	18.2%	35	45.5%	1	1.3%	77
福祉	男	0	0.0%	0	0.0%	3	50.0%	2	33.3%	1	16.7%	6
	女	3	4.4%	10	14.7%	20	29.4%	30	44.1%	5	7.4%	68
	計	3	4.1%	10	13.5%	23	31.1%	32	43.2%	6	8.1%	74
その他	男	164	74.2%	2	0.9%	28	12.7%	22	10.0%	5	2.3%	221
	女	202	55.2%	35	9.6%	67	18.3%	38	10.4%	24	6.6%	366
	計	366	62.4%	37	6.3%	95	16.2%	60	10.2%	29	4.9%	587
総合学科	男	110	25.5%	5	1.2%	112	26.0%	193	44.8%	11	2.6%	431
	女	67	11.7%	57	10.0%	203	35.5%	201	35.1%	44	7.7%	572
	計	177	17.6%	62	6.2%	315	31.4%	394	39.3%	55	5.5%	1,003
小計	男	2,741	43.0%	88	1.4%	1,109	17.4%	2,260	35.5%	176	2.8%	6,374
	女	2,297	37.3%	725	11.8%	1,342	21.8%	1,512	24.5%	289	4.7%	6,165
	計	5,038	40.2%	813	6.5%	2,451	19.5%	3,772	30.1%	465	3.7%	12,539

※ 短大等:短期大学・専攻科・通信教育部を含む。

※ 専修学校・各種学校:専修学校(専門課程・一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等

※ その他:アルバイト・自宅浪人生・死亡等を含む。

(1)-2 平成22年度 県立高校卒業者の学科別進路状況(定時制・通信制)

(平成23年5月1日現在 高校教育室調べ)

学科名	男女別	大学		短大等		専修学校 各種学校		就職		その他		卒業者 (人数)
		(人数)	(%)	(人数)	(%)	(人数)	(%)	(人数)	(%)	(人数)	(%)	
普通	男	27	12.6%	11	5.1%	31	14.4%	65	30.2%	81	37.7%	215
	女	14	6.6%	14	6.6%	28	13.3%	36	17.1%	119	56.4%	211
	計	41	9.6%	25	5.9%	59	13.8%	101	23.7%	200	46.9%	426
農業	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
工業	男	0	0.0%	0	0.0%	4	10.8%	25	67.6%	8	21.6%	37
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0	0.0%	0	0.0%	4	10.8%	25	67.6%	8	21.6%	37
商業	男	1	8.3%	1	8.3%	8	66.7%	1	8.3%	1	8.3%	12
	女	2	20.0%	1	10.0%	2	20.0%	2	20.0%	3	30.0%	10
	計	3	13.6%	2	9.1%	10	45.5%	3	13.6%	4	18.2%	22
水産	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
家庭	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
看護	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
情報	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
福祉	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
その他	男	0		0		0		0		0		0
	女	0		0		0		0		0		0
	計	0		0		0		0		0		0
総合学科	男	5	25.0%	1	5.0%	9	45.0%	3	15.0%	2	10.0%	20
	女	3	9.4%	3	9.4%	8	25.0%	7	21.9%	11	34.4%	32
	計	8	15.4%	4	7.7%	17	32.7%	10	19.2%	13	25.0%	52
小計	男	33	11.6%	13	4.6%	52	18.3%	94	33.1%	92	32.4%	284
	女	19	7.5%	18	7.1%	38	15.0%	45	17.8%	133	52.6%	253
	計	52	9.7%	31	5.8%	90	16.8%	139	25.9%	225	41.9%	537

※ 短大等:短期大学・専攻科・通信教育部を含む。

※ 専修学校・各種学校:専修学校(専門課程・一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等

※ その他:アルバイト・自宅浪人生・死亡等を含む。

(2) 普通科(県立高校全日制)の大学・短大進学状況

高校教育室調べ 各年5月1日現在

年度 大学・短大進学者の割合	年度		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
90%以上	16校	13校	15校
	47.1%	38.2%	44.1%
89~70%	4校	8校	6校
	11.8%	23.5%	17.6%
69~50%	3校	3校	4校
	8.8%	8.8%	11.8%
49~30%	5校	10校	8校
	14.7%	29.4%	23.5%
29%以下	6校	—	1校
	17.6%	—	2.9%

※ 普通科34校についての資料である。うち他学科を併設する13校については普通科のみを取り出している。

※ 南伊勢高校については、南勢校舎と度会校舎を2校としてカウントしている。

(3) 普通科(県立高校全日制)の文系・理系別進学状況

高校教育室調べ

割合 年度	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	文系	理系	その他	文系	理系	その他	文系	理系	その他
(前項で) 90%以上の学校	1,769人	1,187人	403人	1,428人	941人	320人	1,629人	1,060人	378人
	52.7%	35.3%	12.0%	53.1%	35.0%	11.9%	53.1%	34.6%	12.3%
" 89~70%	195人	79人	72人	625人	277人	196人	429人	168人	136人
	56.4%	22.8%	20.8%	56.9%	25.2%	17.9%	58.5%	22.9%	18.6%
" 69~50%	83人	12人	30人	57人	19人	25人	50人	12人	15人
	66.4%	9.6%	24.0%	56.4%	18.8%	24.8%	64.9%	15.6%	19.5%
" 49~30%	64人	10人	17人	76人	12人	16人	89人	11人	10人
	70.3%	11.0%	18.7%	73.1%	11.5%	15.4%	80.9%	10.0%	9.1%
" 29%以下	22人	2人	1人	—	—	—	6人	3人	1人
	88.0%	8.0%	4.0%	—	—	—	60.0%	30.0%	10.0%

※ 普通科34校についての資料である。うち他学科を併設する13校については普通科のみを抽出している。

※ 南伊勢高校については、南勢校舎と度会校舎を2校としてカウントしている。

(4) 県立高等学校の学科別卒業生数及び就職状況

(全日制・定時制)

高校教育室調べ 各年5月1日現在

学科名	職種 卒業年月	専門的・ 技術的	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	運輸・ 通信	生産工 程・ 労務	輸送・ 機械運 転	建設・ 採掘	運搬・ 清掃等	左記以外	卒業生数	就職者数	9月末内定率		3月末内定率	
																男子	女子	男子	女子
普通	平成23年3月	130	81	103	200	26	10	—	473	30	30	17	13	7,604	1,113	36.8	33.4	94.4	94.8
																35.2		94.6	
	平成22年3月	114	72	97	214	17	2	25	522	—	—	—	26	7,608	1,089	41.4	38.6	91.1	88.4
																40.0		89.8	
	平成21年3月	76	121	135	181	13	2	24	735	—	—	—	39	7,621	1,326	58.0	50.7	95.3	91.7
															54.4		93.6		
	平成20年3月	71	140	171	186	26	6	30	708	—	—	—	25	7,846	1,363	58.6	51.4	96.2	94.2
															55.1		95.2		
	平成19年3月	92	143	159	208	23	4	44	772	—	—	—	35	8,331	1,480	57.0	45.5	94.8	94.0
															51.5		94.4		
農業	平成23年3月	26	7	23	44	4	18	—	195	12	14	4	11	568	358	44.9	37.5	99.6	98.4
																42.4		99.2	
	平成22年3月	26	6	32	26	7	9	8	202	—	—	—	25	548	341	50.0	48.8	96.1	93.8
																49.6		95.2	
	平成21年3月	15	21	24	30	1	7	7	231	—	—	—	15	535	351	70.1	57.4	96.7	93.6
															65.7		95.6		
	平成20年3月	39	30	23	36	3	6	8	240	—	—	—	3	594	388	63.6	66.9	96.1	96.4
															64.7		96.2		
	平成19年3月	27	26	26	30	1	3	12	254	—	—	—	0	599	379	60.7	51.4	98.4	95.5
															57.5		97.4		
工業	平成23年3月	150	14	18	18	5	1	—	858	21	25	0	49	1,572	1,159	70.1	47.6	99.5	97.4
																69.3		99.4	
	平成22年3月	179	8	13	14	4	1	36	849	—	—	—	33	1,597	1,137	69.8	55.3	99.3	80.9
																69.3		98.5	
	平成21年3月	177	17	13	17	5	0	18	959	—	—	—	16	1,613	1,222	85.8	57.7	99.7	94.8
															84.6		99.4		
	平成20年3月	200	8	20	10	12	0	14	1,007	—	—	—	11	1,705	1,282	80.5	52.3	99.0	86.0
															79.6		98.6		
	平成19年3月	108	26	27	20	7	0	25	1,050	—	—	—	12	1,770	1,275	74.4	51.6	99.1	98.3
															73.3		99.1		
商業	平成23年3月	33	216	49	78	2	2	—	156	7	3	3	1	1,074	550	50.5	44.4	98.1	98.5
																45.5		98.4	
	平成22年3月	33	183	60	69	6	1	13	150	—	—	—	1	1,074	516	41.0	53.3	97.5	95.5
																50.4		95.9	
	平成21年3月	33	263	50	50	4	1	11	166	—	—	—	1	1,078	579	54.5	67.1	99.1	97.1
															64.9		97.5		
	平成20年3月	36	266	59	48	5	0	15	178	—	—	—	1	1,164	608	68.5	61.8	99.2	99.8
															63.2		99.7		
	平成19年3月	34	294	54	62	7	1	18	197	—	—	—	0	1,322	667	67.7	53.4	99.2	97.4
															56.2		97.8		

学科名	職種 卒業年月	専門的・ 技術的	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	運輸・ 通信	生産工 程 ・労務	輸送・ 機械運 転	建設・ 採掘	運搬・ 清掃等	左記以外	卒業者数	就職者数	9月末内定率		3月末内定率	
																男子	女子	男子	女子
水産	平成23年3月	4	0	7	7	1	6	—	19	6	3	0	0	88	53	53.3 47.3	20.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0
	平成22年3月	0	0	3	19	1	1	5	22	—	—	—	0	87	51	44.2 44.8	46.7 92.7	92.5 92.7	93.3 92.7
	平成21年3月	4	5	4	6	0	0	9	34	—	—	—	6	100	68	57.1 45.8	30.0 97.6	97.6 97.1	96.4 96.4
	平成20年3月	0	1	3	11	1	2	2	38	—	—	—	0	87	58	68.3 65.5	58.8 94.8	100.0 94.8	82.4 94.8
	平成19年3月	0	0	3	17	0	4	1	32	—	—	—	0	87	57	87.9 80.8	68.4 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0
家庭	平成23年3月	8	4	19	53	0	0	—	65	3	0	1	0	336	153	62.5 37.5	36.3 93.9	100.0 93.9	93.5 93.9
	平成22年3月	10	7	19	48	1	0	4	52	—	—	—	2	331	143	54.5 54.8	54.8 92.0	100.0 92.0	91.6 92.0
	平成21年3月	10	20	20	57	1	1	2	65	—	—	—	0	348	176	83.3 68.3	67.8 95.1	100.0 95.1	94.9 95.1
	平成20年3月	16	16	23	48	0	0	1	55	—	—	—	4	334	163	33.3 60.1	61.7 97.0	100.0 97.0	96.8 97.0
	平成19年3月	13	14	36	41	0	0	2	70	—	—	—	0	336	176	66.7 58.9	58.8 97.2	100.0 97.2	97.2 97.2
看護	平成23年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	41	0	— —	— —	— —	— —
	平成22年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	38	0	— —	— —	— —	— —
	平成21年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	39	0	— —	— —	— —	— —
	平成20年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	41	0	— —	— —	— —	— —
	平成19年3月	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	38	0	— —	— —	— —	— —
情報	平成23年3月	3	1	7	1	0	0	—	21	2	0	0	0	77	35	56.5 58.8	63.6 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0
	平成22年3月	0	6	2	4	0	0	1	13	—	—	—	3	73	29	38.1 37.1	35.7 93.5	95.0 93.5	90.9 93.5
	平成21年3月	1	4	0	0	0	0	2	41	—	—	—	0	71	48	63.2 62.0	58.3 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0
	平成20年3月	1	4	1	2	0	0	1	39	—	—	—	0	77	48	87.2 79.6	50.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0
	平成19年3月	0	12	2	2	2	0	0	27	—	—	—	0	77	45	81.8 81.8	81.8 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0

学科名	職種 卒業年月	専門的・ 技術的	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	運輸・ 通信	生産工 程 ・労務	輸送・ 機械運 転	建設・ 採掘	運搬・ 清掃等	左記以外	卒業者数	就職者数	9月末内定率		3月末内定率	
																男子	女子	男子	女子
福祉	平成23年3月	26	0	0	2	0	0	—	4	0	0	0	0	74	32	0.0	44.4	100.0	88.2
																42.1		88.9	
	平成22年3月	28	0	1	5	0	0	0	0	—	—	—	0	73	34	50.0	76.7	100.0	100.0
																73.5		100.0	
	平成21年3月	22	1	2	4	0	0	0	1	—	—	—	1	71	31	75.0	50.0	100.0	90.0
															52.9		91.2		
平成20年3月	13	2	1	19	0	0	0	1	—	—	—	0	75	36	50.0	54.1	100.0	100.0	
															53.8		100.0		
平成19年3月	20	0	1	5	0	0	1	11	—	—	—	0	78	38	60.0	44.1	100.0	97.1	
															46.2		97.4		
その他	平成23年3月	2	3	3	15	3	0	—	30	0	0	4	0	587	60	63.2	40.0	100.0	90.0
																46.9		93.5	
	平成22年3月	0	5	6	12	0	0	3	29	—	—	—	1	590	56	57.7	38.2	100.0	87.1
																46.7		93.2	
	平成21年3月	3	2	5	13	0	0	2	50	—	—	—	1	581	76	72.0	52.7	100.0	87.3
															58.8		91.4		
平成20年3月	2	8	11	11	1	0	4	50	—	—	—	1	605	88	67.3	71.4	100.0	97.6	
															69.0		98.9		
平成19年3月	13	9	11	3	2	0	0	23	—	—	—	2	560	63	61.5	71.4	100.0	100.0	
															67.2		100.0		
総合学科	平成23年3月	48	37	25	72	9	2	—	141	44	10	5	11	1,055	404	47.6	37.9	96.1	91.4
																42.4		93.6	
	平成22年3月	55	36	29	76	1	3	12	182	—	—	—	4	1,068	398	54.8	41.2	97.4	86.2
																47.2		91.1	
	平成21年3月	52	47	34	57	10	2	9	249	—	—	—	6	1,112	466	62.8	58.3	99.2	94.9
															60.6		97.1		
平成20年3月	41	61	45	58	11	1	14	220	—	—	—	5	1,118	456	66.2	56.1	98.6	95.7	
															60.6		97.0		
平成19年3月	46	81	22	42	6	3	9	138	—	—	—	15	999	362	56.1	52.7	99.4	98.1	
															54.1		98.6		
合計	平成23年3月	430	363	254	490	50	39	—	1,962	125	85	34	85	13,076	3,917	55.3	38.4	97.8	95.4
																48.4		96.8	
	平成22年3月	445	323	262	487	37	17	107	2,021	—	—	—	95	13,087	3,794	56.7	46.1	96.5	90.7
																52.3		94.1	
	平成21年3月	393	501	287	415	34	13	84	2,531	—	—	—	85	13,169	4,343	72.4	58.0	98.1	94.0
															66.3		96.4		
平成20年3月	419	536	357	429	59	15	89	2,536	—	—	—	50	13,646	4,490	71.0	57.3	98.1	96.2	
															65.4		97.3		
平成19年3月	353	605	341	430	48	15	112	2,574	—	—	—	64	14,197	4,542	66.5	51.3	97.8	96.2	
															60.0		97.1		

※ 単位は(人)、ただし内定率のみ(%)

※ 平成23年の5月1日調査から職種の分類に変更あり

※ 内定率は上段左が男子、右が女子、下段は計

※ 看護の内定率の空欄は、全員が高等学校専攻科に進学するため

(5) 学科別の県内・県外企業への就職状況

(全日制・定時制) 高校教育室調べ

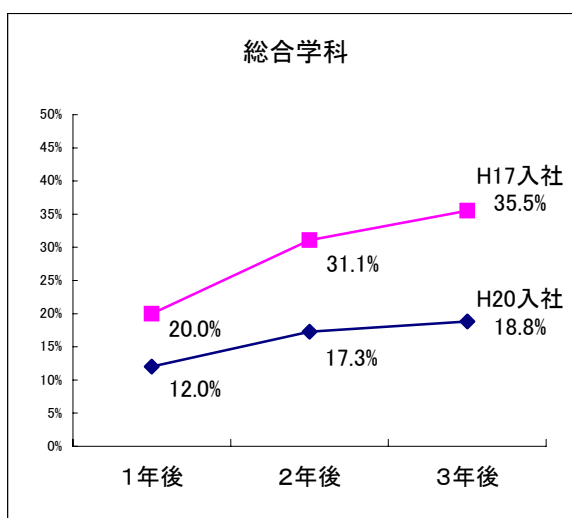
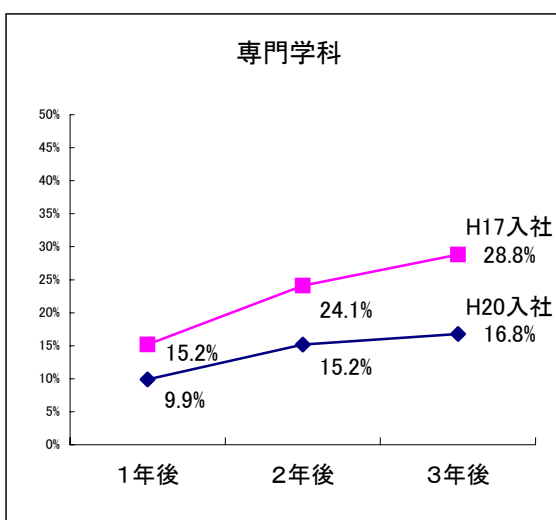
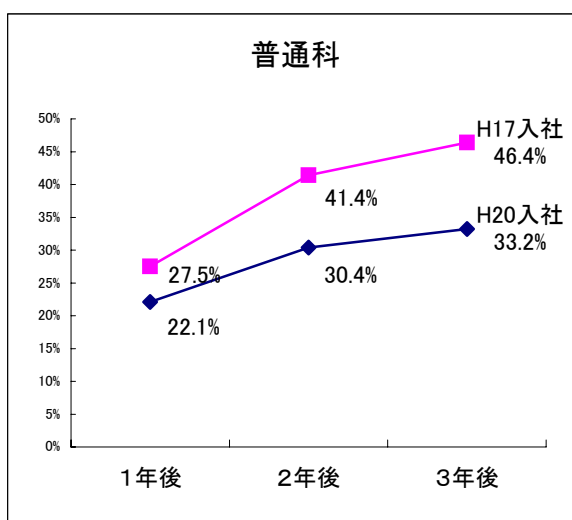
		平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度		
		県内	県外	小計	県内	県外	小計	県内	県外	小計	県内	県外	小計	県内	県外	小計
普通	人数	1,279	158	1,437	1,125	172	1,297	1,138	142	1,280	965	86	1,051	977	98	1,075
	割合	89.0%	11.0%		86.7%	13.3%		88.9%	11.1%		91.8%	8.2%		90.9%	9.1%	
農業	人数	348	31	379	359	29	388	329	22	351	314	27	341	341	17	358
	割合	91.8%	8.2%		92.5%	7.5%		93.7%	6.3%		92.1%	7.9%		95.3%	4.7%	
工業	人数	966	309	1,275	988	294	1,282	951	271	1,222	947	190	1,137	965	194	1,159
	割合	75.8%	24.2%		77.1%	22.9%		77.8%	22.2%		83.3%	16.7%		83.3%	16.7%	
商業	人数	587	80	667	515	93	608	489	90	579	455	61	516	490	60	550
	割合	88.0%	12.0%		84.7%	15.3%		84.5%	15.5%		88.2%	11.8%		89.1%	10.9%	
水産	人数	33	24	57	31	27	58	40	28	68	35	16	51	30	23	53
	割合	57.9%	42.1%		53.4%	46.6%		58.8%	41.2%		68.6%	31.4%		56.6%	43.4%	
家庭	人数	164	12	176	155	8	163	165	11	176	134	9	143	145	8	153
	割合	93.2%	6.8%		95.1%	4.9%		93.8%	6.3%		93.7%	6.6%		94.8%	5.2%	
看護	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合															
情報	人数	44	1	45	48	0	48	48	0	48	29	0	29	35	0	35
	割合	97.8%	2.2%		100.0%			100.0%			100.0%			100.0%		
福祉	人数	34	4	38	35	1	36	28	3	31	33	1	34	31	1	32
	割合	89.5%	10.5%		97.2%	2.8%		90.3%	9.7%		97.1%	2.9%		96.9%	3.1%	
その他	人数	57	6	63	85	3	88	70	6	76	52	4	56	57	3	60
	割合	90.5%	9.5%		96.6%	3.4%		92.1%	7.9%		92.9%	7.1%		95.0%	5.0%	
総合学科	人数	270	92	362	349	107	456	364	102	466	341	57	398	356	48	404
	割合	74.6%	25.4%		76.5%	23.5%		78.1%	21.9%		85.7%	14.3%		88.1%	11.9%	
人数		3,782	717	4,499	3,690	734	4,424	3,622	675	4,297	3,305	451	3,756	3,427	452	3,879
割合		84.1%	15.9%		83.4%	16.6%		84.3%	15.7%		88.0%	12.0%		88.3%	11.7%	

(6) 新規高校卒業就職者の就職離職状況

三重労働局調べ

	全国			三重県		
	就職者	卒業後3年間		就職者	卒業後3年間	
	(人)	離職者(人)	離職率(%)	(人)	離職者(人)	離職率(%)
平成19年3月	186,389	75,256	40.4	3,612	1,303	36.1
平成18年3月	181,133	80,500	44.4	3,256	1,338	41.1
平成17年3月	177,033	84,792	47.9	3,243	1,422	43.8
平成16年3月	172,341	85,155	49.4	3,043	1,429	47.0
平成15年3月	170,644	84,197	49.3	2,748	1,343	48.9

(7) 学科別の離職率の推移



生活・文化部調べ
企業向けアンケートによる抽出調査

(8)平成22年度 県立高等学校 学科別インターンシップ体験状況

(平成23年2月22日現在 高校教育室調べ)

全日制	3年生	3年生で、在学中に1回でも体験した者	
		(人数)	(%)
学科名	(人数)	(人数)	(%)
普通	6,934	1,183	17.1%
農業	572	261	45.6%
工業	1,538	470	30.6%
商業	1,023	276	27.0%
水産	89	36	40.4%
家庭	339	141	41.6%
看護	41	41	100.0%
情報	77	0	0.0%
福祉	74	74	100.0%
その他	572	193	33.7%
総合学科	1,025	367	35.8%
合計	12,284	3,042	24.8%

※ 看護実習、介護体験等も含む。

定時制	3・4年生	3・4年生で、在学中に1回でも体験した者	
		(人数)	(%)
学科名	(人数)	(人数)	(%)
普通	540	16	3.0%
工業	81	0	0.0%
商業	66	3	4.5%
総合学科	115	115	100.0%
合計	802	134	16.7%

通信制	3・4年生	3・4年生で、在学中に1回でも体験した者	
		(人数)	(%)
学科名	(人数)	(人数)	(%)
普通	1,266	1	0.1%
合計	1,266	1	0.1%

(9) 卒業生アンケートから見える就職指導の課題

1 アンケートの趣旨

高校の進路指導や生徒の進路決定過程等の状況を把握し、今後の就職指導に活用するため、県教育委員会が、県立高校5校を卒業し就職した者を対象に実施した。

2 アンケート実施方法

対象 桑名北高校・四日市商業高校・菰野高校・津商業高校・紀南高校を平成23年3月に卒業した者のうち、就職した者

実施日 平成23年4月～7月

回答件数 466件送付中、163件回答

3 主な回答

(1) 就職活動中にもっと教えてほしかったこと

- ・面接試験の練習の回数をもっと多くしてほしかった
- ・仕事内容や給与・休日・勤務場所・会社の雰囲気等
- ・社会人になる上での常識やマナー、言葉遣い
- ・働くことの楽しさ、やりがい
- ・先輩方の声
- ・人間関係について
- ・電話のかけ方のスキル
- ・入社してから、資格取得が多い事
- ・軽い障がいを持っている人でも働きやすい職場や働き方について

(2) 高校時代、もっと勉強しておけばよかったこと

ア 普通科（桑名北・菰野・紀南）

- ・敬語の使い方やマナー
- ・人と接する事や、相談の仕方
- ・現代文などで対人関係の事についてもっと勉強しておけばよかった
- ・英語・簿記・数学・国語・漢字
- ・資格をとること
- ・ワープロ検定や漢字検定はとっておいた方がよい。特に、エクセルや簿記など
- ・メモを取る習慣を身につける必要がある
- ・身体能力

イ 商業科（四日市商業・津商業）

- ・敬語(言葉遣い)、コミュニケーション能力
- ・一般常識、社会人としてのビジネスマナー、電話対応のスキル
- ・国語・漢字・現代文・数学・歴史・地理・英語
- ・もっとパソコンに関することを身につけておけばよかった。エクセルやワード、入力の速さなど
- ・マーケティング、商品と流通は、もっとしっかりやっておきたかった
- ・商業高校でも情報関係のコースだったので、簿記が分からない。情報も簿記もまんべんなく学べるコースがあれば良い。広い知識が大切
- ・伝票の書き方ぐらい知っていても良かったかなと思う
- ・自分の就きたい職業についてもっと調べてその職業には何が必要なのかをもっと考えれば良かった
- ・分かりやすく伝える技術

普通科設置校の現状と課題

1. 普通科の現状について

(1) 設置状況〔資料1参照〕

- ・ 県立高校全日制56校のうち、33校に設置
- ・ 生徒在籍数は21,693名
高等学校の総在籍者数(38,297名)の56.6%(H23.5.1現在)

(2) 普通科設置校(進路の状況別)※()内はクラス数

- ・ **【ほぼ全員が大学に進学する学校】**
桑名(8)、四日市(9)、四日市南(8)、川越(8)、神戸(8)、津(9)、津西(9)、津東(8)、上野(7)、
松阪(8)、宇治山田(7)、伊勢(8)
- ・ **【就職や、大学・専門学校への進学等、生徒の進路が多様な学校】**
桑名西(8)、桑名北(6)、四日市西(8)、朝明(6)、四日市四郷(7)、菰野(4)、飯野(4)、
白子(6)、石薬師(5)、稲生(6)、亀山(3)、久居(7)、白山(2)、名張桔梗丘(6)、名張西(5)、
相可(4)、南伊勢度会(2)、南伊勢南勢(1)、志摩(3)、尾鷲(4)、木本(2)、紀南(3)

2. 普通科の成果と課題について

(1) 進学にかかる成果

- 大学・短大等への進学に繋がる教育の充実
普通科の進学率62.7%(職業系学科の進学率17.4% 総合学科の進学率23.8%)
- 国公立大学の合格者数は概ね横ばい傾向(生徒減に比すれば上昇傾向)
(県立高校からの国公立大学合格者数1,747名(H22年度、含む浪人))
- 難関国公立大学(旧帝大)の合格者数は増加傾向
(H7~11年度は毎年190名~230名程度、H18~22年度は260名~290名程度)

(2) 基礎学力向上に向けた取組の成果

- 義務教育段階の学力の学び直しの取組
(小学校段階の学習から体系的に学び直しする学習システムの研究:白子高校)
(→ ベネッセが「まなトレ」として発展させて商品化、全国に普及)

(3) 新規高校卒業就職者のうち、3年以内の離職が普通科の生徒に多い。

- 3年以内の離職者割合(H20年度入社)
普通科(33.2%)、 専門学科(16.8%)、 総合学科(18.8%)

〔資料1〕

生徒在籍数

○ 県立高校（全日制）

普通科	実学級数	1年			2年			3年			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
全体	1,029	6,433	6,322	12,755	6,403	6,709	13,112	6,202	6,228	12,430	19,038	19,259	38,297
うち普通科	575	3,503	3,665	7,168	3,548	3,916	7,464	3,469	3,592	7,061	10,520	11,173	21,693

(1) ほぼ全員が大学に進学する学校

普通科	実学級数	1年			2年			3年			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小計	267	1,725	1,769	3,494	1,721	1,882	3,603	1,806	1,764	3,570	5,252	5,415	10,667

(2) 就職や、大学・専門学校への進学等、生徒の進路が多様な学校

普通科	実学級数	1年			2年			3年			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小計	308	1,778	1,896	3,674	1,827	2,034	3,861	1,663	1,828	3,491	5,268	5,758	11,026

総合学科の現状について

総合学科は「普通科」と「専門学科」の良さを取り入れて平成6年度から導入された学科である。幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視していること、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視することが特色である。

	学校名	系列数	系列名	特長
	(地域名)			
	〔設置年度〕			
	〈クラス数〉			
大規模	いなべ総合学園	8	人文社会 国際理解 情報ビジネス スポーツマネージメント 生活環境 社会福祉 自然科学 デザイン	県内初の大規模総合学科
	(北勢)			
	〔H13〕			
	〈8〉			
中規模	木本	7	大学進学(文系) 大学進学(理系) 看護医療系進学 ビジネス 家庭 体育 芸術	全国初の総合学科
	(牟婁)			
	〔H6〕			
	〈5〉	6	IT 芸術メディア スポーツ・健康福祉 ベンチャービジネス 国際文化・国際科学 生活デザイン	バランスのとれた都市型総合学科
	名張			
	(伊賀)			
〔H14〕	5	観光ビジネス 生活福祉 スポーツ健康 文化教養(創作活動) 文理総合	バランスのとれた初の軽装備総合学科	
鳥羽				
(南勢)				
〔H17〕	5	国際交流 環境技術 美術工芸 介護福祉 総合スポーツ	全国初で唯一の全寮制総合学科	
昴学園				
(松阪)				
〔H7〕	4	健康福祉 美容服飾 製菓調理 情報教養	全国でも珍しい特色ある系列	
あけぼの学園				
(伊賀)				
〔H10〕	4	郷土・環境 介護・福祉 コンピュータ 総合進学	全国初連携型中高一貫教育	
飯南				
(松阪)				
〔H11〕	3	社会福祉 国際経営 服飾デザイン 福祉サービス ビジネス情報 デザイン・美術 ビジネスサービス デザイン・工芸 文化教養	全国初の昼間部定時制総合学科 (夜間はH21に普通科から改編)	
みえ夢学園				
(中勢)				
〔H9〕	3	福祉サービス ビジネス情報 デザイン・美術 ビジネスサービス デザイン・工芸 文化教養		
〔H21〕夜間				
〈1〉:午前 〈1〉:午後 〈2〉:夜間 ※H23~〈1〉				

農業学科の現状について

学校名	大学科	学科名(クラス数)	コース名、教育概要
四日市 農芸	農業	生産科学科(1)	<p>■生産技術コース:農業生産の基礎基本を学び、野菜を中心とした都市型農業や自然農法を通し、安全な食料生産技術の習得をめざします。身につけた知識や技術を利用して都市近郊農業を中心とする農業経営者、農業技術者、地域社会の指導者を育てます。</p> <p>■販売情報コース:食品の流通や販売に関する知識と技術を習得し、流通販売に不可欠な情報処理について学びます。自ら生産・加工した食品の管理・販売計画・広告宣伝等のマーケティング技術を身につけ、インターネットを利用し、情報を適切に収集、処理、発信できる人材を育てます。</p> <p>■食品科学コース:食品となる農産物を有効に利用し、安全な食品を提供するため食品製造・食品成分・微生物・衛生管理に関する技術と知識を学習します。更に、地元地域の食品関連産業と連携した校外実習を通して実践力を養い、将来食品業界を担う人材を育てます。</p>
		食品科学科(1)	
		環境造園科(1)	
		園芸科学科(1)	
久居農林	農業	生物生産科(1)	<p>■食品コース:農作物から、自分たちで安全・安心な加工食品を生み出すスペシャリストを育てます。地元の農産物を有効に利用し、ジャムやパン、クッキー、味噌づくりを通して、製造技術・原材料を学びます。衛生管理、米生産も学びます。</p> <p>■植物コース:トマトやイチゴ、ブドウやナンなどの栽培を通して、安全安心な食料生産の知識や栽培技術を学びます。地域の食文化や地域で栽培される農作物、環境に配慮した持続可能な食料生産について学習します。</p> <p>■動物コース:さまざまな動物たちを総合的に活用し、人に関わる動物分野の指導者となる人材の育成を目指しています。動物と接する実践学習で、専門技術のほか豊かな心を身につけます。</p>
		生物資源科(1)	
		環境情報科(1)	
		環境土木科(1)	
明野	農業	生産技術科(1)	<p>農業経営者や緑化技術者など、「食と農」に関する産業に幅広く貢献できる人材の育成を目標としています。生徒の進路、能力や適正を考慮して、2年次よりコース制を導入し、農業分野(生物生産コース)または園芸分野(環境緑化コース)についてより詳しく学習します。</p> <p>食品業界をサポートする人材を育成します。食品の製造、分析、流通、栄養等の学習や、微生物について学びます。</p> <p>情報科社会に対応できるマルチ的人材を育成します。農業全般に関する流通、経済、販売等について学びます。</p>
		食品科学科(1)	
		経済科(1)	

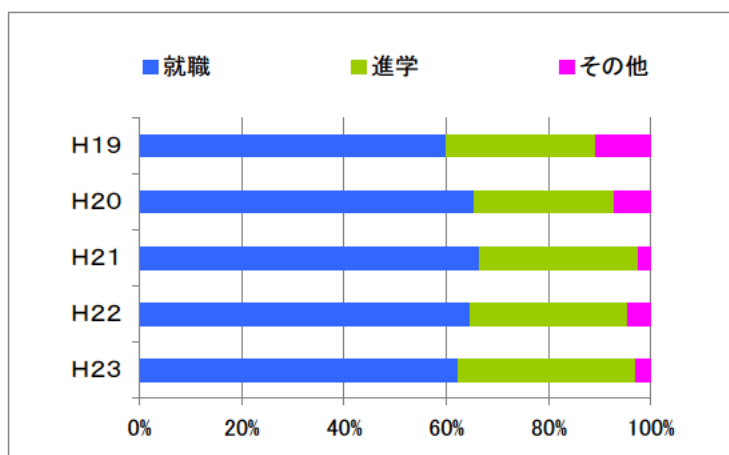
農業学科の現状について

学校名	大学科	学科名(クラス数)	コース名、教育概要
相可	農業	生産経済科(1)	農産物の生産とその流通、園芸福祉、環境問題を学びます。食料となる作物や、生活を豊かにする園芸植物の栽培技術や松阪牛の肥育技術を学びます。
		環境創造科(1)	生活の基盤を支える「まちづくり」と「国土保全」を基本にしながら、新たな環境を創造していくことができる技術者を養成します。街づくりや地域防災など、都市景観・地域デザインの知識や技術や、循環型社会に対応した社会基盤の整備についての知識や技術を学びます。
伊賀白鳳	農業	生物資源(1)	<p>■バイオサイエンスコース: バイオテクノロジーの技術を使って新品種の開発や植物の培養をしたり、野菜、草花、果樹の栽培方法を学びます。野菜や草花等の農業生産について、実習を通して専門的な知識や技術を習得するとともに、基礎的なバイオテクノロジーの知識や技術の習得を目指します。</p> <p>■生産ビジネスコース: 野菜、草花、果樹の栽培実習を通して、安全で安心な食料生産技術を習得します。また、商品の企画、流通・販売までを幅広く学びます。情報処理や簿記など商業に関する学習も取り入れ、農産物の生産から流通・販売まで、一連の学習を通して新しい農業経営に関する知識や技術の習得を目指します。</p>
		フードシステム(1)	<p>■フードサイエンスコース: 安全で安心な食品を提供するため、ジャムや味噌などの加工食品、醸造食品の製造や、食品分析・食品衛生管理を学びます。食品の成分と栄養、微生物の培養や加工の原理について理解するとともに、安全で安心な食品の製造に関する専門的な知識や技術を習得します。</p> <p>■パティシエコース: 調理や製菓の実習を通して、和・洋・中華など幅広い調理や製菓の技術を身につけます。食品化学、調理科学、栄養学や生理学についても学習します。また、人と食の関わりを大切にすることや、コミュニケーション能力を身につけます。</p>

【進路状況】

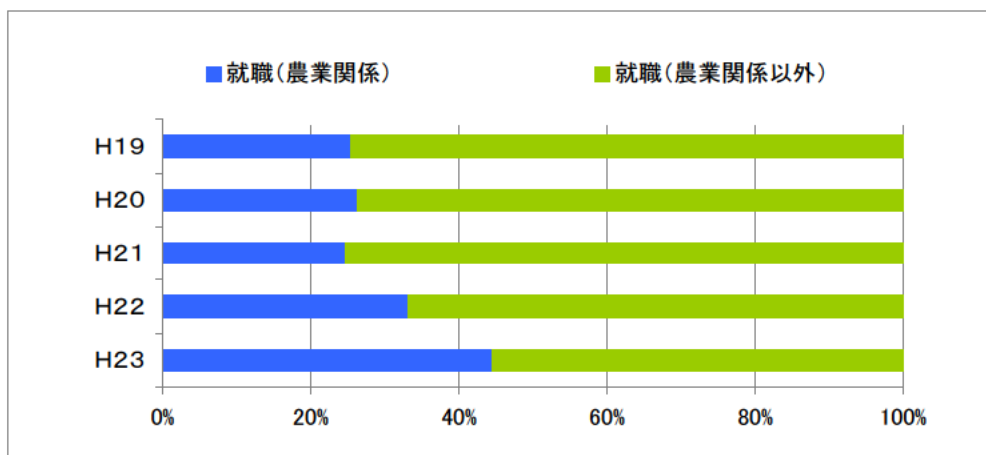
(1) 就職・進学割合

年度	就職者 総数 (I)	進学者 総数 (J)	その他	卒業者 総数 (L)
H 2 3	306	169	15	490
H 2 2	338	161	24	523
H 2 1	363	169	13	545
H 2 0	402	169	44	615
H 1 9	371	181	66	618



(2) 就職の概要

年度	就職者 総数 (I)	農業関係											左記以外
		専業 農家	公務員	農協・ 森林組 合等	農業生 産法人 等	食品製 造等	バイテ ク関連	林産物 加工等	建設関 係	造園関 係	生活福 祉関連	その他 農業関 連	
H 2 3	306	0	22	4	6	39	0	3	19	9	13	21	170
H 2 2	338	1	23	5	4	32	0	3	21	8	9	6	226
H 2 1	363	0	13	12	3	41	0	0	13	4	3	1	273
H 2 0	402	0	24	11	3	35	0	0	19	9	2	3	296
H 1 9	371	2	20	5	0	38	0	0	12	8	4	5	277



工業学科の現状

(1) 単独工業校

学校名	設置学科(クラス数)	コース名、教育概要
桑名工業	機械科(1)	<p>■テクノシステムコース: テクノシステムコースは、基礎・基本をマスターした上で、NC旋盤等の最新の機械にふれることにより、時代に即したこれからの「ものづくり」の技術・技能を学習する。</p> <p>■エコシステムコース: 機械加工の基本的な学習から、地球環境にやさしい「ものづくり」までを学習する。地球環境にやさしい「ものづくり」では、燃料電池など新しいエネルギーの活用からエネルギーの選択を含めた省エネルギー、工業材料の中心である鉄から新素材まで使用材料、さまざまな製造方法を選択工夫すること等を学習する。</p>
	材料技術科(1)	
	電気科(1)	<p>■電気技術者コース: 電気基礎・計測を基礎とし、モータ・発電等に重点をおきながら、コンピュータ・自動制御などの基本を学ぶ。更に、屋内の電気工事など、就職に役立つ実技を身につける。電気についての理論と実践を学ぶ事を通じて、社会に貢献できる電気技術者を育てる。</p>
	電子科(1)	<p>■情報技術者コース: コンピュータは、今や生活・産業社会に不可欠な存在になっている。このようなコンピュータ社会において、どのような場面にも対応できる専門知識を持つ、オールラウンドな情報技術を学ぶ。</p>
四日市工業	機械科(2)	産業の中心的分野である機械工業に従事する有能な中堅機械技術者の養成を目的とする。機械実験、実習、設計製図、機械工作、原動機などの分野に重点を置き、機械工業およびこれに関連する諸分野において、製造、管理、企画、設計、研究、整備、営業等の業務に従事する能力を養成する。
	電子機械科(1)	産業界の自動化、システム化及びメカトロニクス化などに対応できる人材の育成を教育目標とする。電気・電子・機械工学に関する知識や技術の習得とそれを活用する能力を身につけさせ、機械の制御や生産設備の省力化、無人化、およびそれらの設置を計画、製作、操作管理することができる能力を養う。
	電気科(1)	電気技術が果たす役割の重要性を理解して、電気技術者に必要な専門の知識・技術を習得する。そして進歩の目ざましい工業技術に適應できる能力や創造能力を身につけた技術者を育成する。
	電子工学科(1)	電気および電子工学の基本的な知識を理解させこれを応用できる能力を養う。各種電気機器の機能を理解させ、各種計測、自動制御の理論、コンピュータの理論、利用についてその基本的な技術を習得させる。
	建築科(1)	建築に関する基礎知識と技術を習得するとともに、設計、施工、管理技術の何れの職域にも進みうることを目標にしている。教育内容は設計製図、構造、計画、法規、実習(測量、材料実験、造形、木工、CAD)等の教科を課している。
	物質工学科(1)	<p>■科学技術コース: 新素材、新技術などを題材にして物質の成り立ちや構造の知識を養い、化学分析やプラント(機器設備)などの操作を通じ生産現場での基本的な技術を学習し、地域産業に貢献できる中堅技術者を養成する。</p> <p>■セラミックコース: 四日市の伝統工芸の継承と陶磁器技術、陶磁器デザインの学習、また芸術系大学の進学を目標とする。</p>
自動車科(1)	自動車に関する技術の進展や、時代の要請に応え、関係企業の技術者として、自動車に関する必要な理論および技術を習得させる。卒業・終了時に三級自動車整備士実務経験及び実技試験が免除されます。	
四日市工業 <定時制>	機械交通工学科(1)	<p>■機械コース: 機械に関する基礎的な知識・技術等を総合的に学習します。また、加工する技術を体験的に修得することに重点を置き、機械実習、課題研究などにより、たくましい想像力を養います。</p> <p>■自動車コース: 自動車についての技術は、近年、環境問題や安全性への対応などから、その進歩にはめざましいものがあります。このような情勢の中で自動車に関する基本的な知識や整備技術を中心に実務も含めて学んでいきます。卒業・終了時に三級自動車整備士実務経験及び実技試験が免除されます。</p>
	住システム工学科(1)	<p>■電気コース: 私たちの暮らす社会における電気の重要性を知るとともに、発電や送電のシステムやモータ、トランジスタ等の知識と技術を学習します。電気工事士・電気主任技術者などの資格の学習にも取り組んでいます。</p> <p>■建築コース: 建築に関する基礎知識と技術を学習するとともに、建築技術のめざましい進歩に伴う新しい分野への適應能力を身につけることを目標としています。所定の認定科目を修得すれば、卒業後三カ年の実務経験を経て、二級建築士受験資格が得られます。卒業生の多くが一級・二級建築士の国家資格を取得しています。</p>

学校名	設置学科(クラス数)	コース名、教育概要
四日市中央工業	機械科(2)	基礎基本を重視し、ものづくりを通して人間性豊かな産業界の要求に応えられる機械技術者の育成を目標としています。教育内容は基礎的な実験・実習にはじまり、計測制御・エレクトロニクス関係に至るまでを課し、新しい機器を導入して、最新の技術の進歩に十分即応しうるよう指導しています。
	電気科(1)	電気と通信ネットワークに関する電気技術・ネットワーク・情報端末機器を扱うことができる資格が電気工事士・工事担任者・電気主任技術者です。IT時代に活かせる資格取得とその実践力を実習で習得し、未来のスペシャリストとしての資質を高めます。
	化学工学(1)	私達の生活に欠かせない食品、医療、衣服をはじめ、自動車やコンピュータなどの素材も化学製品です。化学工学科では、これらの技術を学ぶと共に、環境問題に取り組み、自然を守り、夢をかなえるスペシャリストの育成を目指しています。
	都市工学科(1)	<p>■都市建設コース：社会基盤を作るための学問で、私たちが日常利用する道路、鉄道、水道、公園などで構成される「社会づくり」が都市工学科です。本コースは其中でも、建設や測量技術について学びます。</p> <p>■都市デザインコース：人間と自然が共存できる安全で暮らしやすいまちづくりを学びます。防災や景観工学などの科目を設定して、幅広い知識を持った技術者の育成を目標としています。</p>
	設備システム科(1)	<p>■建築設備コース：快適な建築環境を創り出す技術を学ぶコースです。ビルなどの建築物の設備・制御について必要な技術を学習をします。</p> <p>■システム専門コース：明るい未来・楽しい生活を創るために環境を考え、快適な空間を創りだしていくための情報、電気機器などを幅広く学ぶコースです。</p>
津工業	機械科(2)	機械工作・設計・原動機等の基礎的・基本的な知識と、それに基づく機械加工・CAD等の技術を習得する。また、機械加工技能士・ボイラー技士等の資格に挑戦し、どの分野にも適応できる実践的な力を身につけることにより、勤労精神を重んじる工業人の育成を目指す。
	電気科(1)	電気発生から送電、取扱い、応用まで、電気に関する幅広い内容を基礎から学習し、卒業までに電気主任技術者や電気工事士の資格を取得し、社会で大いに活躍出来る実力の養成を目指す。
	電子科(1)	情報技術(コンピュータなど)や通信技術(携帯電話など)、各種電子機器の機能を理解させ、自動制御やコンピュータの利用についてその基本的な技術を習得させる。
	建設工学科(1)	建築・土木に関する基礎的な知識や技術・技能を習得し、さらに住宅・都市計画等に対する理解を深め、街づくり・地域づくりに参画できる人材を育成する。
松阪工業	機械科(2)	機械の設計、製作などの基礎科目は勿論、最新のコンピュータを使用した自動化システム等、最新技術の学習にも多くの時間を割り当て、技術革新のめざましい産業界で常に最先端で活躍できる人材育成を目指す。
	電気工学科(1)	電力の発生から輸送、応用技術や情報技術など幅広い電気工学の分野について、基礎から応用まで幅広く学習し、確かな専門知識の修得と将来にわたって通用する問題解決能力を養うことを目指す。
	工業化学科(1)	研究開発、試験分析、生産部門にかかわる化学技術者の育成を目標に、基礎的科目を重視し、実験実習の習熟を通して、専門的知識の理解を深め、一人一人の優れた創造力と豊かな感性を生活環境の場に生かせる人材を育成する。
	繊維デザイン科(1)	視覚伝達デザイン、工業デザイン、空間演出デザイン、造形芸術など幅広いデザイン分野で活躍できる人材の育成を目的に、デザイン・美術・工芸をそれぞれ専門の教師陣による充実したデザイン教育を行う。
	自動車科(1)	自動車を通じて機械や電気などの工業基礎分野と自動車に関する専門的な知識と技術を身につける。
伊勢工業	機械科(2)	機械や工業に関する基礎的理論を学習するとともに、工作機械・仕上組立・鑄造・塑性加工・溶接作業等の生産的実習、更に原動機、材料試験・流体実験・計測制御・電気実験等により専門的な技術を身につける。また、NC旋盤・NCフライス盤・MCによる数値制御やロボットを中心としたメカトロ教育にも力を注ぐ。
	電気科(2)	電気回路・電気磁気・静電気・電気計測や、発電機・電動機・変圧器・電気材料などについて学習する。また、半導体素子・アナログ回路・デジタル回路などや発電・送電・配電・屋内配線等の電気法規、および照明・電熱・自動制御・電気鉄道・電気化学等の電気応用を学習する。
	建築科(1)	建築構造設計、建築計画、建築施工などを学びます。また、形態や色彩についての感覚、図面の描き方・読み方、建物の構造法や強度の計算法、工事を進める順序や方法、材料の性質や必要な数量を見積り、土地測量、材料試験の実験などを学習する。

工業学科の現状

(2) 併設校

学校名	設置学科(クラス数)	コース名、教育概要
伊賀白鳳	機械科(1)	機械の基礎を中心に、電気や情報の基礎も学ぶ。実習では、各種工作機械による金属加工や溶接、鋳造、鍛造を始めとしてエンジン・ボイラーの性能試験や金属材料試験、数値制御工作機、コンピュータ、電気、自動制御の実習等を行い、機械の分野を幅広く学ぶ
	電子機械科(1)	<p>■ロボットコース: 機械、電子、情報技術に関する基礎を学ぶとともに、産業用ロボットやコンピュータ制御等に関する知識や技術を習得する。産業用ロボットの操作・制御の基礎や電子機械を構成する機器などに関する知識や技術を身に付ける。</p> <p>■電気工学コース: 電気に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、情報通信や環境に配慮した新しいエネルギーなどに関する学習を行う。国家試験に挑戦し、電気のスペシャリストを目指す。</p>
	工芸デザイン科(1)	<p>■インテリアコース: 電気に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、情報通信や環境に配慮した新しいエネルギーなどに関する学習を行う。国家試験に挑戦し、電気のスペシャリストを目指す。</p> <p>■デザインコース: 素描やデッサン等のデザインの基礎を学ぶとともに、絵画、版画、彫刻など美術工芸に関する知識や技術を習得する。</p>
尾鷲	システム工学科(1)	<p>■機械系: 機械の設計、製作、機械工作や原動機などを学ぶ。主に機械の科目を中心とした系列である。</p> <p>■電気系: 電気基礎、電子回路、電気機器など電気に関する分野について学ぶ。電気の科目を中心とした系列である。</p>
名張西	情報科(1)	情報社会のしくみやニーズを知り、様々な技術を習得し、「情報技術」を通して周りに貢献できる人材を育成する。情報のユーザー(利用者)としてはもちろん、エンジニア(技術者・開発者)としてのスキル(技術・技能・態度)取得を目指す。
伊勢まなび	ものづくり工学科(1)	従来の工業技術科の伝統を受け継ぎ、さらに地域の産業と連携して「ものづくり＝人づくり」の新たな要素を取り入れたカリキュラムが特色である。

商業学科の現状

学校名	設置学科(クラス数)	コース名、教育概要
四日市商業	商業(5)	<p>現代の経済社会のビジネスに関する知識と技能を習得する学習を行う。学習の内容は、普通教科の他に一年生では商業の専門科目「ビジネス基礎」、「簿記」と「情報処理」の科目を学習します。二年生より本人の将来の希望や適性に合わせ、専門性を深めるとともに実社会において有効な高度な資格が取得できるよう3つのコースから選択ができます。</p> <p>【会計ビジネスコース】 ビジネス活動において必要な簿記会計分野を中心に学習します。</p> <p>【流通ビジネスコース】 ビジネス活動全般において必要な知識や技術の習得を目指します。流通経済分野を中心に学習します。</p> <p>【情報ビジネスコース】 ビジネス活動において必要なワープロ・表計算ソフトなどの知識や技術の習得を目指します。</p> <p>三年生では、自分の目標に向け科目を選択し、より幅広い知識と技術を習得するとともに、資格取得にチャレンジできます。</p>
	情報処理(2)	<p>コンピュータを用いてビジネスに関する情報を適切に管理・分析・活用する知識と技術を習得するとともに実習を通して実践的な力を身につけます。一年生では、情報関連の学習をするだけでなく商業の基本である簿記についても学習します。二年生より本人の将来の希望や適性に合わせ、専門性を深めるとともに実社会において有効な高度な資格が取得できるよう3つのコースから選択ができます。</p> <p>【情報システムコース】 SE(システムエンジニア)として活躍できるための学習をします。情報系学科のある大学等への進学にも十分対応しています。</p> <p>【情報マネジメントコース】 情報処理と会計処理というビジネスの両面を学び、幅広く活躍できる力を習得します。</p> <p>【情報アドミニストレータコース】 ビジネスの諸場面において情報処理に関する積的なアドバイスができるための知識や技術を習得します。</p>
津商業	ビジネス(6)	<p>簿記や会計、文書デザイン、情報処理、流通ビジネス分野など、ビジネスに必要な知識・技術・マナーを幅広く学習し、事務、営業販売、サービス部門で活躍できる力を身につけます。一人ひとりの進路や興味・関心に対応するために2年生から3つの類型からを選択することができます。</p> <p>【会計類型】 財務諸表の作成および分析する知識・技術の習得を目指します。</p> <p>【情報類型】 ビジネス分野におけるコンピュータの利用に関して専門的な知識・技術の習得を目指します。</p> <p>【流通類型】 ビジネスにおける流通分野に関する専門的な知識・技術の習得を目指します。</p>
	情報システム(1)	<p>ICT(情報通信技術)時代に対応して、コンピュータのスペシャリストを目指し、プログラミング・通信ネットワーク・データベースといった専門分野の基礎を学習することができます。経済産業省情報処理技術者試験(基本情報技術者試験など)の資格取得にチャレンジします。</p>
白山	情報コミュニケーション(1)	<p>ビジネス教育を基礎として、将来の職業人として必要な「コミュニケーション能力」を重視した教育を推進します。</p> <p>一年生では、基礎学力の定着を図るとともに、商業に関する基礎的な学習を行います。二年生では、自分の目的に応じたコース選択が可能となり、より専門的な学習ができます。</p> <p>【メディアコース】 多様なメディアを活用し、地域を活性化するための情報発信能力を身につけます。</p> <p>【ビジネスコース】 職業資格を取得し、ビジネスの基礎・基本の力を身につけ、地域を大切に「起業家精神の育成」を目指します。</p>
伊賀白鳳	経営(1)	<p>一年生では、基礎科目により様々な産業を学ぶ事を通じ、高校で学ぶコースを選択することができます。</p> <p>二年生では、コース専門科目やキャリア科目を選択し、専門性の深化を図ります。</p> <p>【ビジネスコース】 マルチメディアを活用した情報処理、プレゼンテーション技法、ネットワークを活用した商取引などについて学びます。簿記や情報処理、販売技術などに関する専門的な知識や技術を習得します。</p> <p>【マネジメントコース】 簿記会計を中心に、商品開発や企画提案を体験的に学びます。また、国際的な企業活動を学ぶうえから、外国語についても重点的に学びます。企業の経営活動に関する基本的な知識や技術を習得します。</p>

学校名	設置学科(クラス数)	コース名、教育概要
松阪商業	情報ビジネス(3)	<p>商業(ビジネス)について総合的な学習を行います。1年次で全員が必修科目として「ビジネス基礎」と「簿記」を学習し、商業の基礎・基本についての知識・技能を身につけるとともに、将来の進路についての意識を高めます。2年次からの専門科目は、経営情報分野・簿記会計分野・流通ビジネス分野といった幅広い範囲から科目を選択して学習します。コンピュータを利用した授業では、表計算・データベース・プレゼンテーションなどのビジネスの世界で必要とされる活用方法を中心に学びます。専門科目をより深く学ぶとともに、簿記・情報処理・販売士・秘書その他の検定・資格取得にも積極的に取り組み、これらの検定・資格を進学にも就職にも活かしていきます。</p> <p>※単位制のメリットを活かして普通教科の科目を選択することにより、看護系、幼児教育系の進学対応も可能となります。</p>
松阪商業	情報システム(1)	<p>コンピュータに携わる仕事に就きたいと考えている生徒のための学科です。商業教育の視点に立った情報教育を行い、情報分野のスペシャリストとして活躍できる人材の育成を目指しています。1年次で必修科目として「ビジネス基礎」と「情報処理」、「簿記」を学ぶことで商業の基礎・基本についての知識・技能を身につけるとともに、将来の進路についての意識を高めます。単位制のメリットを最大に活かしながら2年次からは進路に応じ二つの系列(ITパスポート系・情報処理技術系)に分かれ、専門的な学習を行います。基礎的な情報活用能力の育成をはじめ、表計算・データベース・プレゼンテーションといった利用者の立場からのコンピュータ利用にとどまらず、プログラミング・システム開発・ネットワークシステム・マルチメディア・コンピュータデザインといった開発者側の立場に立った内容を学習します。これらは情報分野の基礎・基本となる内容であり、専門科目をより深く学ぶことで情報分野の国家試験合格をめざします。また、情報分野を中心として簿記やその他の検定・資格取得にも積極的に取り組み、これらの成果を進学にも就職にも活かしています。</p>
宇治山田商業	商業(3)	<p>ビジネスマンとして、起業を目指す者として必要な幅広い知識を学びます。また、経済・経営・商学系の大学進学をめざし、簿記会計を専門的に学びます。情報に関する知識と活用方法について学習します。二年生では、進路希望に応じ2つのコースから選択が可能となります。</p> <p>【マーケティングコース】 営業、サービス担当者として必要なマーケティングや商品と流通などの知識・技術を学びます。</p> <p>【経理コース】 経理担当者として必要な簿記会計や原価計算などの知識・技術を学びます。</p>
	情報処理(1)	<p>事務の仕事に関する必要な商業科目に加えて、ビジネスの分野で意思決定を行うために必要な情報処理能力の習得を目指します。また、情報に関する基礎基本からネットワークの構造や仕組み、セキュリティに関する内容までの多様な学習を行います。経済産業省情報処理技術者試験(午前試験免除制度適用)の取得を目指します。</p>
	国際(1)	<p>ビジネスに必要な基礎知識や技術も取得し、将来、国際的な分野で活躍できる人材の育成を目指します。経済・商学系及び語学・文学系学部の大学進学をめざし、商業科目に加えて英語を多く学びます。3人のALTと最新のコンピュータシステムを活用した実用的なビジネス英会話の習得を目指します。1・2年次のオーストラリア姉妹校との交換留学及びカナダ・韓国での英語研修を行います。</p>
尾鷲	情報ビジネス(2)	<p>ビジネス社会に即応できるスペシャリストを目指し、簿記やコンピュータ、流通ビジネス等の科目を、豊富な実習をまじえた学習を行います。また、ビジネス系の検定資格に1年次から挑戦できます。二年生では、進路希望に応じ、3つのコースから選択することができます。</p> <p>【情報コース】 コンピュータを活用した情報処理のスペシャリストを目指します。</p> <p>【ビジネスコース】 ビジネスに関する専門的な知識や技術を身につけます。</p> <p>【会計コース】 簿記・会計の資格取得を目指し、より高度な学習を行います。</p>

水産学科の現状

設置学科	コース名	教育概要
海洋科	海洋技術コース	マリンスポーツ等の実習を通して、広く海洋に関する知識を学ぶ。
	航海技術コース	3ヶ月の航海実習、漁業実習をとおして航海技術や資源の管理及びその活用法などを学ぶ。
機関科	海洋工学コース	3ヶ月の航海実習を実施し、船用ディーゼル機関やボイラー・冷凍機・ポンプなどの構造・作動・取扱いについて学ぶ。
	機械工学コース	船用のエンジンだけではなく、自動車用のディーゼルエンジンやガソリンエンジンの構造・取り扱いについて学ぶ。
水産製造・増殖科	製造系	乾製品、ねり製品、佃煮、ビン詰め、燻製品、アイスクリーム等の製造について学ぶ。
	増殖系 (魚類コース)	魚類(主にキンギョ、サケ・マス、ブリなど)の種苗生産や飼育管理について学ぶ。
	増殖系 (真珠コース)	真珠の核入れ、真珠の選別、真珠のペンダント・指輪作りと真珠について学ぶ。
漁業専攻科 機関専攻科		本科を卒業した生徒が入学し、乗船実習や座学により、海運・水産分野における船舶運航あるいは船用機関についての専門的な知識と技術を学ぶ。

家庭学科の現状について

学校名	設置学科 (学級数)	コース名	教育概要
四日市農芸 高校	生活文化科 (2)	食物経営コース 製菓衛生コース 服飾経営コース 生活福祉コース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣、食、福祉に関するコースを設置 ○ 多様な資格取得を推進 食生活アドバイザー 色彩能力検定 販売士検定3級 訪問介護員2級 福祉住環境コーディネーター 等 ○ 地域に根ざした取組 アグリロマンサルビアとの連携 高齢者へのデイサービスの実施 ○ 各種コンクールへの参加
白子高校	生活創造科 (1)	食彩コース 服飾コース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣、食に関するコースを設置 ○ 「新しい感覚のスペシャリストの育成」という視点で、心豊かなライフスタイルを創造できる力育成 ○ 多彩な「学校設定科目」を設定 「ヒューマンライフ」、 「コミュニティーライフ」 「フードクリエイトⅠⅡ」 「ファッションクリエイトⅠⅡ」
亀山高校	総合生活科 (1)	幼児教養系列 人間福祉系列 食物文化系列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食、ヒューマンサービス(幼児教育、人間福祉)に関するコースを設置 ○ 幼稚園・保育所・子育て支援センター・老人福祉施設などでの実習の推進
久居農林 高校	生活デザイン 科 (2)	食生活コース 衣生活コース リビングコース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣、食、住に関するコースを設置 ○ 「わくわく農林塾」を通じた地域と連携した取組の実施 ○ インターンシップを推進 (長期インターンシップの実施)
相可高校	食物調理科 (1)	調理師コース 製菓コース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理師コース、製菓コースを設置 ○ 調理師やパティシエ、地域における「食」のリーダー、「食」のスペシャリストの育成 ○ 食物調理科研修施設「まごの店」の取組 ○ 資格取得、地域との連携、各種コンクールへの参加及び上位入賞、商品開発等の取組
明野高校	生活教養科 (1)	デザインコース 調理コース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣、食に関するコースを設置 ○ 地元の特産物ひじき等を活用した商品開発の実施 ○ 各種コンクールへの参加 ○ 伊勢市の観光PRなどの地域活性化への取組

看護学科の現状について

設置学科・コース名等

学校名	設置学科 (学級数)	教育概要等
桑名高校	衛生看護科 (1) 衛生看護専攻科 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衛生看護科(3年)、衛生看護専攻科(2年)を併せた5年間で、看護師を養成する教育を行っている。 ○ 平成19年度、平成20年度、平成22年度は、看護師国家試験の合格率は100%であり、高い合格率を維持している。 ○ 平成21年度は89.2%が平成22年度は81.1%の生徒が県内の病院に就職しており、地域の看護人材の育成に貢献している。

情報学科の現状について

設置学科・コース名等

学校名	設置学科 (学級数)	コース名	教育概要
亀山高校	システムメディア科 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ITシステム系列 ○ネットワーク系列 ○デザイン系列 ○アカウント系列 ○リテラシー系列 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンピュータシステム全体のエキスパートを目指します。 ○ インターネットをはじめとするネットワークの技術を学びます。 ○ ポスター・ホームページデザインなどの技術を学びます。 ○ 簿記を中心に学び、パソコンも習得しながら事務処理分野に必要な能力を身につけます。 ○ ワープロや表計算など、多くの検定資格取得を目指します。

福祉学科の現状について

設置学科・コース名等

学校名	設置学科 (学級数)	コース名	教育概要
伊賀白鳳高校	ヒューマン サービス科 (1)	生活福祉コース 介護福祉コース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活福祉コース: 幅広く福祉について学ぶコースで、進学希望者に対応 ○ 介護福祉コース: 介護福祉士養成課程 ○ 過去3年間の福祉関係への就職者の割合の平均は88.7%となっており、地域の福祉人材の育成に貢献している。
明野高校	福祉科 (1)	社会福祉コース 介護福祉コース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉コース: 幅広く福祉について学ぶコースで、進学希望者に対応 ○ 介護福祉コース: 介護福祉士養成課程 ○ 過去3年間の福祉関係への就職者の割合の平均は70.6%となっており、地域の福祉人材の育成に貢献している。 ○ 過去3年間の介護福祉士国家試験の合格率の平均が83.6%(全国平均51.2%)となっており、高い合格率を保っている。

単位制高校について

1 経緯

単位制高校は、昭和63年3月に文部省令「単位制高等学校教育規程」が定められ、定時制・通信制課程について制度化され、さらに平成5年度から全日制課程についても単位制のみによる教育課程の編成実施を可能とした。

2 現状

(1) 本県の現状（学科名は平成23年度時点のもの）

① 県内の全日制における単位制高等学校 16校（うち総合学科7校）

設置年度	学校名	学科名
平成6年度	木本高校	総合学科
平成7年度	昴学園高校	総合学科
平成9年度	久居高校 松阪商業高校	普通科 情報ビジネス科、情報システム科 国際教養科
平成10年度	あけぼの学園高校 尾鷲高校	総合学科 普通科、情報ビジネス科
平成11年度	飯南高校	総合学科
平成12年度	津西高校 紀南高校	普通科、国際科学科 普通科
平成13年度	いなべ総合学園高校 尾鷲高校	総合学科 システム工学科
平成14年度	名張高校 名張桔梗丘高校	総合学科 普通科
平成15年度	津東高校	普通科
平成17年度	鳥羽高校	総合学科
平成21年度	伊賀白鳳高校	機械科・電子機械科・工芸デザイン科・生物資源科・フードシステム科 ・経営科・ヒューマンサービス科
平成22年度	相可高校	普通科

② 県内の定時制における単位制高等学校 9校（うち総合学科1校）

設置年度	学校名	学科名
平成9年度	みえ夢学園高校 (昼間部)	総合学科
平成10年度	尾鷲高校 木本高校	普通科 普通科
平成12年度	四日市北高校 ※平成18年度より北星 高校に名称変更。 四日市工業高校	普通科、情報ビジネス科 機械科、電気科、建築科、自動車科 (平成14年度より機械科と電気科を システム工学科として3科) (平成18年度入学生より工業技術科)
平成13年度	みえ夢学園高校 (夜間部) 松阪工業高校 (鳥羽高校)	普通科、商業科 (平成21年度入学生より総合学科) 普通科 普通科(平成20年3月31日閉校)
平成14年度	名張高校	普通科
平成16年度	伊勢まなび高校	普通科、ものづくり工学科
平成18年度	四日市工業高校	工業技術科
平成23年度	四日市工業高校 飯野高校	機械交通工学科、住システム工学科 普通科

- (2) 単位制高校の全国的状況（高等学校教育の改革に関する推進状況：平成22年度文部科学省）
個に応じた教育課程の履修が可能である点から、高校教育改革の重要な柱の一つと考えられており、今後も増加していくものと思われる。

年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
課程										
全日制	198	231	293	347	405	436	471	498	522	534
定時制・通信制	179	192	220	244	274	302	314	359	378	394

※平成20年度調査から学校設置会社が設置する学校を含んでいる。

3 内容

(1) 単位制の特色

- ・ 学校が定めた画一的な教育課程ではなく、生徒が自ら学ぶ科目を選択し、自分で自分の時間割をつくることができること。
- ・ 学年の区分を設けず、かつ学年ごとの課程の修了認定を行わないので、マイペースで学習でき、卒業までに所要の単位を修得すれば卒業が認められること。
- ・ 過去に在学した高等学校において修得した単位を卒業に必要な単位数に加えることができること。

① 全日制における単位制の特徴

- ア 生徒が、主体的に自らの学習計画に基づき、学びたい時期に学習できること。
- イ 異なった学年の生徒との活発な交流により、人間形成上、有意義な教育的体験が可能であること。
- ウ 多様な生徒に、それぞれの個性に応じた教育課程を提供し、年次を越えた教科・科目の選択を一層容易にすることができること。
- エ いわゆる空き時間が設定できること。
- オ 学校・学科間の異動、転編入学等が容易であること。
- カ 原級留置等による学習意欲の減退や中途退学を防止することができること。
- キ 学期ごとの入学や卒業が可能となること。
- ク 二学期制の導入が容易となること。

② 定時制・通信制における単位制の特徴

- ア 生涯学習の観点から、誰でも、いつでも、必要に応じて学習することができること。
- イ 科目履修生を受け入れ、多様な教育の機会を提供することが可能となること。
- ウ 定通併修、実務代替、学校間連携等、様々な制度の導入が容易となること。

(参考) 単位制高等学校の設置に関する根拠法令

学校教育法施行規則第64条の3

高等学校においては、第65条第1項で準用する第27条(各学年の課程の修了に係る部分に限る。)の規定にかかわらず、学年による教育課程の区分を設けないことができる。

- 2 前項の規定により学年による教育課程の区分を設けない場合における入学等に関する特例その他必要な事項は、単位制高等学校教育規程の定めるところによる。

中高一貫教育

1 経緯・現状

(1) 国の状況

- ① 中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現を目指し、平成11年4月から公立中高一貫教育（3つの類型）を導入した。
- ② 近年は、6年間を通じた教育課程をより弾力的に編成できる併設型や中等教育学校の設置が進んでいる。

【平成22年度の設置状況】

区分	中等教育学校	併設型	連携型	計
公立	28 (25)	68 (63)	80 (80)	176 (168)
私立	16 (13)	204 (183)	1 (1)	221 (197)
国立	4 (4)	1 (1)	0 (0)	5 (5)
計	48 (42)	273 (247)	81 (81)	402 (370)

※ () 内は、平成21年度の設置状況

※ 平成23年度以降に設置が予定されている中高一貫教育校は31校
(中等教育学校3校、併設型25校、連携型3校)

(2) 本県の状況

- ① 連携型については平成11年度以降、4地域で実施してきた。

実施地域	学校名	学校の特色等
飯南地域 (H.11.4～)	松阪市立飯南中学校 松阪市立飯高西中学校 松阪市立飯高東中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育」を柱とした中高の教育課程の連携 ・中高の連携を核に、地元の小学校、大学との連携
	飯南高等学校	
紀伊長島地域 (H.13.4～H.22.3)	平成22年3月、廃止	
白山・美杉地域 (H.13.4～)	津市立白山中学校 津市立美杉中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の育成等を柱にした教育課程の研究 ・中高合同OJTの実施 ・地域教育フォーラムの開催
	白山高等学校	
南勢地域 (H.15.4～)	南伊勢町立南勢中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の科目「情報」と、高校の情報教育とを接続 ・教育実践交流・研修会及び合同教科会の実施
	南伊勢高等学校 南勢校舎	

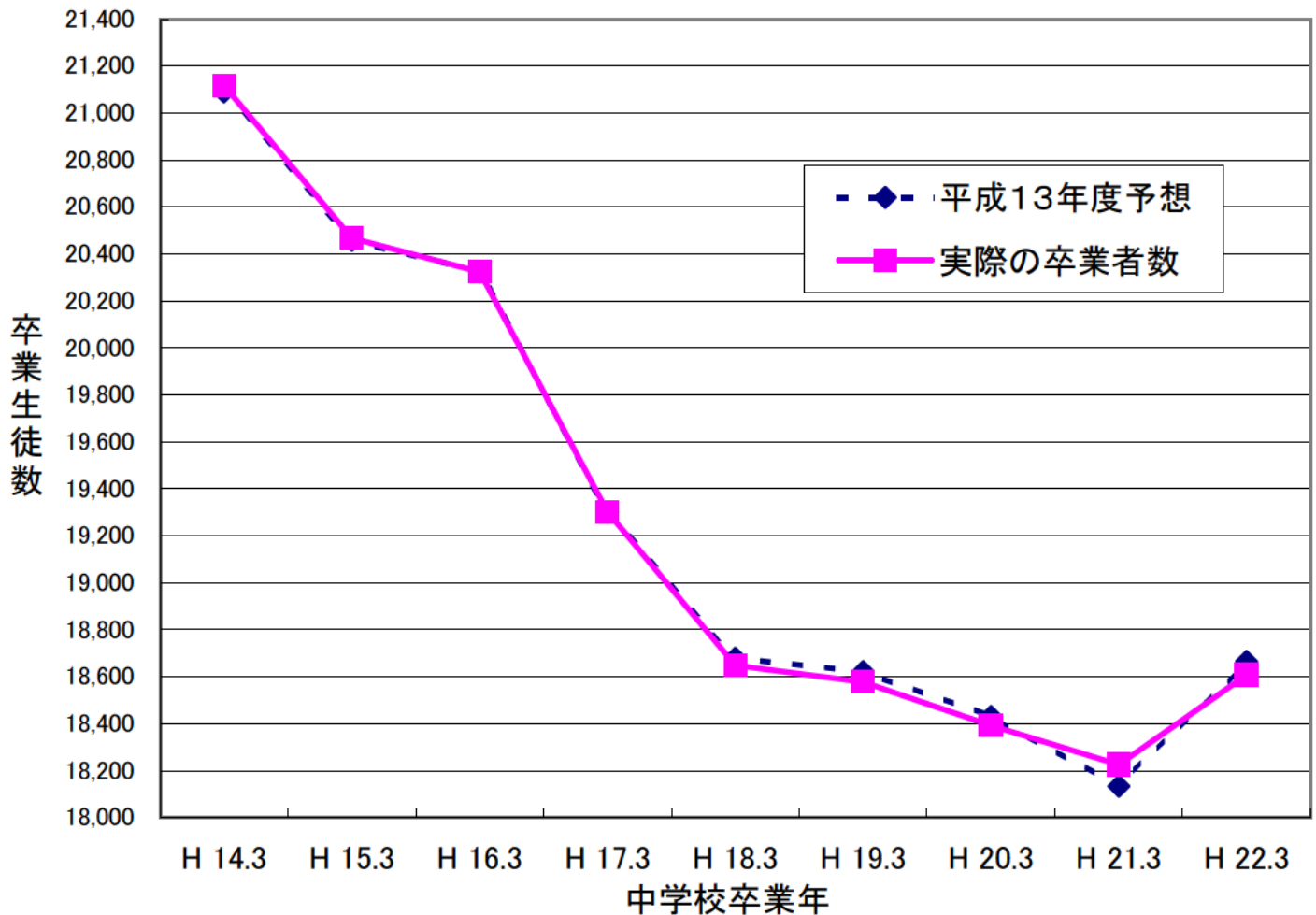
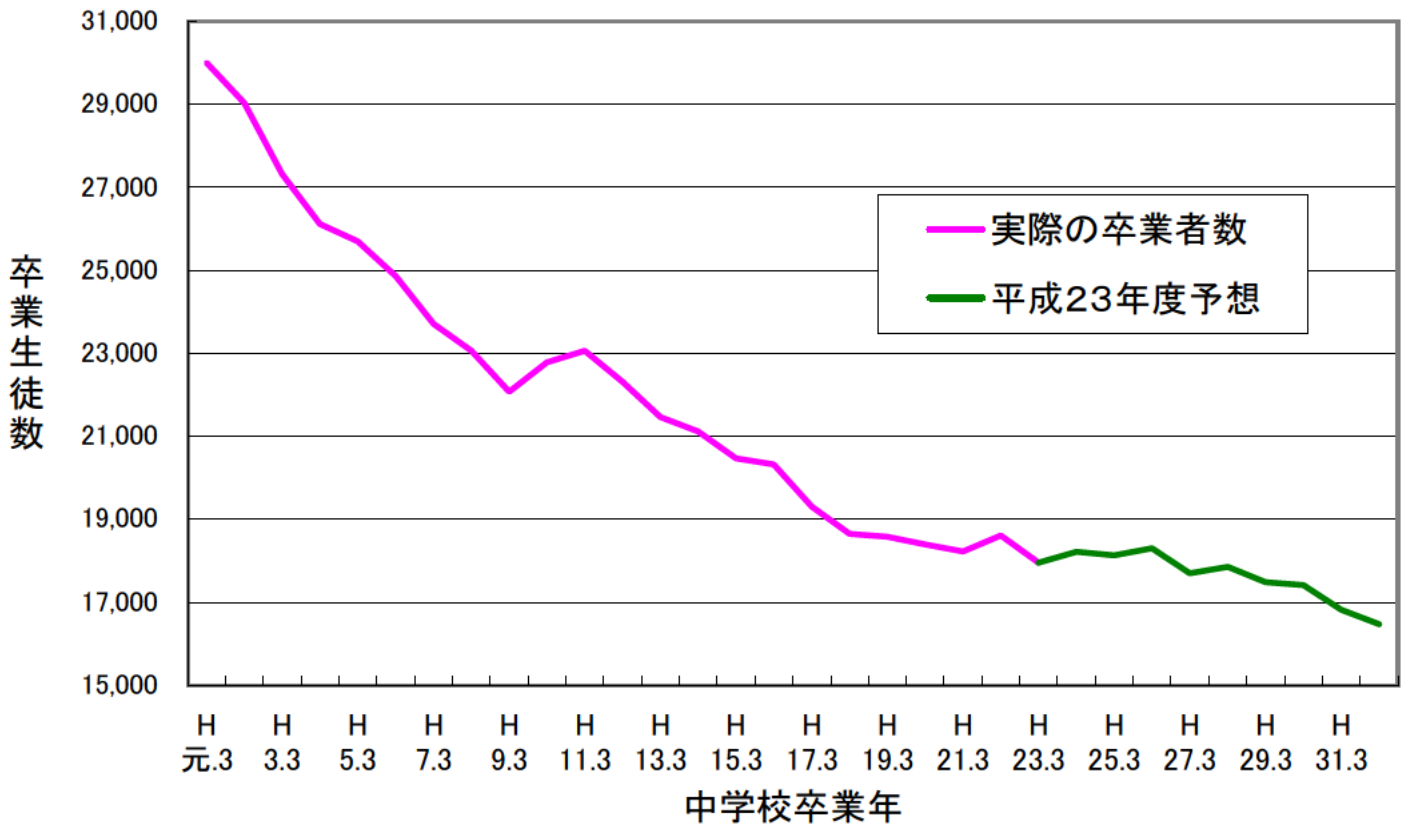
- ② 併設型や中等教育学校については、国の指定事業に伴う実践研究を平成12年度から平成14年度まで員弁及び久居両地域で実施したが、実施に至らなかった。当面は、県中高一貫教育推進会議等で検討することとした。
- ③ 飯南地域の実践は、高大連携や系統的なキャリア教育の推進（中学校新教科「人間と社会」の設定）など全国に先駆けた先進的な取組として評価されており、平成22年11月には全国中高一貫教育研究大会を開催した。
- ④ 教員交流に伴う人的支援として、非常勤講師の配置を行っている。
- ⑤ 県中高一貫教育推進会議を設置して、連携型の改善・充実及び県全体の公立中高一貫教育の在り方について協議している。

4. 三重県 中学校卒業生の推移と予測(含社会増)

平成23年5月1日 教育改革室調べ

		H 20.3	H 21.3	H 22.3	H 23.3	H 24.3	H 25.3	H 26.3	H 27.3	H 28.3	H 29.3	H 30.3	H 31.3	H 32.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
桑名	卒業者数	2,260	2,153	2,229	2,160	2,169	2,139	2,236	2,246	2,183	2,142	2,054	2,081	1,986
	前年度対比		-107	76	-69	9	-30	97	10	-63	-41	-88	27	-95
	H23.3対比					9	-21	76	86	23	-18	-106	-79	-174
四日市	卒業者数	3,697	3,796	3,762	3,753	3,750	3,914	3,931	3,744	3,835	3,822	3,842	3,642	3,542
	前年度対比		99	-34	-9	-3	164	17	-187	91	-13	20	-200	-100
	H23.3対比					-3	161	178	-9	82	69	89	-111	-211
小計	卒業者数	5,957	5,949	5,991	5,913	5,919	6,053	6,167	5,990	6,018	5,964	5,896	5,723	5,528
	前年度対比		-8	42	-78	6	134	114	-177	28	-54	-68	-173	-195
	H23.3対比					6	140	254	77	105	51	-17	-190	-385
鈴鹿	卒業者数	2,241	2,419	2,456	2,360	2,504	2,486	2,659	2,570	2,645	2,489	2,496	2,461	2,410
	前年度対比		178	37	-96	144	-18	173	-89	75	-156	7	-35	-51
	H23.3対比					144	126	299	210	285	129	136	101	50
津	卒業者数	2,874	2,777	2,987	2,775	2,876	2,763	2,787	2,728	2,670	2,642	2,688	2,630	2,678
	前年度対比		-97	210	-212	101	-113	24	-59	-58	-28	46	-58	48
	H23.3対比					101	-12	12	-47	-105	-133	-87	-145	-97
伊賀	卒業者数	1,794	1,724	1,742	1,673	1,636	1,620	1,597	1,443	1,555	1,507	1,510	1,452	1,436
	前年度対比		-70	18	-69	-37	-16	-23	-154	112	-48	3	-58	-16
	H23.3対比					-37	-53	-76	-230	-118	-166	-163	-221	-237
小計	卒業者数	6,909	6,920	7,185	6,808	7,016	6,869	7,043	6,741	6,870	6,638	6,694	6,543	6,524
	前年度対比		11	265	-377	208	-147	174	-302	129	-232	56	-151	-19
	H23.3対比					208	61	235	-67	62	-170	-114	-265	-284
松阪	卒業者数	2,093	2,013	1,962	1,962	1,978	2,058	2,006	1,972	2,003	1,979	1,999	1,910	1,926
	前年度対比		-80	-51	0	16	80	-52	-34	31	-24	20	-89	16
	H23.3対比					16	96	44	10	41	17	37	-52	-36
伊勢	卒業者数	2,695	2,555	2,704	2,508	2,565	2,454	2,394	2,308	2,303	2,273	2,211	2,094	2,006
	前年度対比		-140	149	-196	57	-111	-60	-86	-5	-30	-62	-117	-88
	H23.3対比					57	-54	-114	-200	-205	-235	-297	-414	-502
尾鷲	卒業者数	350	367	371	360	358	325	312	341	292	283	283	249	229
	前年度対比		17	4	-11	-2	-33	-13	29	-49	-9	0	-34	-20
	H23.3対比					-2	-35	-48	-19	-68	-77	-77	-111	-131
熊野	卒業者数	388	422	395	399	379	369	379	347	365	343	333	300	261
	前年度対比		34	-27	4	-20	-10	10	-32	18	-22	-10	-33	-39
	H23.3対比					-20	-30	-20	-52	-34	-56	-66	-99	-138
小計	卒業者数	5,526	5,357	5,432	5,229	5,280	5,206	5,091	4,968	4,963	4,878	4,826	4,553	4,422
	前年度対比		-169	75	-203	51	-74	-115	-123	-5	-85	-52	-273	-131
	H23.3対比					51	-23	-138	-261	-266	-351	-403	-676	-807
県内合計	卒業者数	18,392	18,226	18,608	17,950	18,215	18,128	18,301	17,699	17,851	17,480	17,416	16,819	16,474
	前年度対比		-166	382	-658	265	-87	173	-602	152	-371	-64	-597	-345
	H23.3対比					265	178	351	-251	-99	-470	-534	-1,131	-1,476

三重県中学校卒業者の推移と予測 (平成23年5月)



伊勢地域、伊賀地域の中学校卒業者の推移と予測(含社会増)

